

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 弘前大学医学部附属病院における放射線治療を行なった子宮頸癌に対する HALP スコアによる予後予測に関する研究

### 研究の目的

近年、子宮頸癌は増加傾向にあり、局所進行性子宮頸癌の状態で見られる患者さんも多くなっております。局所進行子宮頸癌の治療は主に放射線治療により行われておりますが、治療後の生存率は 20-70% と幅が広いです。また合併症等により手術が困難な子宮頸癌の患者さんにも放射線治療が選択されおり、弘前大学医学部附属病院産科婦人科（以下、当科）においても放射線治療を受ける方が増えてきています。本課題の目的は、当科において放射線療法または同時化学放射線療法を行なった子宮頸癌における患者さんの予後予測を行い、今後の診療に役立てることです。HALP スコアは検査時の栄養状態や腫瘍による免疫反応を反映していると考えられており、他の悪性腫瘍において予後との関連性が報告されています。治療前のヘモグロビン値、アルブミン値、リンパ球数、血小板数から HALP スコアを算出し、治療後の経過との関係を解析して検討を行います。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

**対象となる方：** 2005 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日までの間、附属病院産科婦人科を受診し、子宮頸癌と診断され放射線療法(同時化学放射線療法も含む)を受けられた方。

### 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) FIGO 進行期
- 2) 組織型
- 3) 年齢
- 4) 血液検査データ
- 5) 再発時期・部位
- 6) 予後

これらの情報を元に、HALP スコアを算出し、子宮頸癌の特徴に基づく予後（無増悪生存率、5 年生存率）を統計学的に評価します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則と

してお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

<b>本件連絡先</b>	産婦人科・重藤 龍比古 連絡先 0172-39-5107/ t-shigeto@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---